



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月8日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー (氏名) 岡田高志

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 2022年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	639	7.4	39		36		44	
2022年3月期第1四半期	690	6.0	28		19		31	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 74百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 44百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	12.14	
2022年3月期第1四半期	8.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,790	4,974	85.9
2022年3月期	5,915	5,214	88.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,974百万円 2022年3月期 5,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		45.00	45.00
2023年3月期(予想)		0.00		45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,516	0.5	124	2.3	139	1.9	77	7.8	21.20
通期	3,195	0.3	320	4.9	345	8.0	217	0.1	59.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更等)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	4,536,000 株	2022年3月期	4,536,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	859,612 株	2022年3月期	859,612 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	3,676,388 株	2022年3月期1Q	3,676,388 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更等)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の対策が浸透したことなどにより、経済活動の回復に向けた動きが見られましたが、原材料価格の高騰や急激な円安を主因として幅広い分野で値上げが進行しており、先行き不透明な状況で推移しております。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、新しい仕組みづくりが求められております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、主力である教育事業及びスポーツ事業において、顧客の信頼・信用を得て、サービスを継続・発展させることに尽力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高6億39百万円(前年同期比51百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業損失39百万円(前年同期は営業損失28百万円)、経常損失36百万円(前年同期は経常損失19百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシスを含む当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は5,928名(前年同期比3.1%減)となり、売上高は4億91百万円(前年同期比21百万円減)、セグメント損失は14百万円(前年同期はセグメント損失10百万円)となりました。

(スポーツ事業)

当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は4,509名(前年同期比17.2%減)となり、売上高は85百万円(前年同期比20百万円減)、セグメント損失は8百万円(前年同期はセグメント損失6百万円)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は44百万円(前年同期比3百万円減)、セグメント損失は12百万円(前年同期はセグメント損失10百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は18百万円(前年同期比4百万円減)、セグメント損失は3百万円(前年同期はセグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は39億23百万円(前連結会計年度末比94百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が1億21百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は18億66百万円(前連結会計年度末比30百万円減)となりました。

これは主に、投資有価証券が33百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は6億64百万円(前連結会計年度末比1億17百万円増)となりました。

これは主に、流動負債その他が1億49百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億51百万円(前連結会計年度末比2百万円減)となりました。

これは主に、退職給付に係る負債が2百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は49億74百万円(前連結会計年度末比2億40百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が2億10百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において、主力事業である教育事業の平均生徒数実績が、前期比191名減(3.1%減)、予想比10名増(0.2%増)とほぼ予想と同水準で推移しております。スポーツ事業の平均生徒数実績についても、前期比939名減(17.2%減)、予想比29名増(0.6%増)とほぼ予想と同水準で推移しており、連結売上高及び連結営業損益についても、予想の範囲内で推移しております。

第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、共に、前回公表数値と同額を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,794,697	3,673,325
受取手形及び売掛金	12,663	10,157
商品及び製品	126,557	133,365
原材料及び貯蔵品	7,599	5,972
その他	76,954	101,128
流動資産合計	4,018,471	3,923,950
固定資産		
有形固定資産	311,085	313,730
無形固定資産	20,373	26,601
投資その他の資産		
投資有価証券	1,085,596	1,052,541
その他	480,173	473,567
投資その他の資産合計	1,565,769	1,526,108
固定資産合計	1,897,228	1,866,440
資産合計	5,915,700	5,790,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,630	19,087
短期借入金	150,000	170,000
未払法人税等	70,898	11,288
賞与引当金	41,563	62,752
その他	251,554	400,884
流動負債合計	546,646	664,012
固定負債		
退職給付に係る負債	108,358	105,399
資産除去債務	16,719	17,614
その他	29,435	28,908
固定負債合計	154,513	151,922
負債合計	701,160	815,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,759,190	5,549,132
自己株式	△736,402	△736,402
株主資本合計	5,265,187	5,055,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△68,621	△99,518
為替換算調整勘定	17,973	18,844
その他の包括利益累計額合計	△50,648	△80,673
純資産合計	5,214,539	4,974,455
負債純資産合計	5,915,700	5,790,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	690,479	639,186
売上原価	523,609	485,293
売上総利益	166,869	153,893
販売費及び一般管理費	195,108	193,823
営業損失(△)	△28,239	△39,929
営業外収益		
受取利息	339	360
受取配当金	4,925	5,613
投資有価証券評価益	6,213	-
受取賃貸料	492	428
その他	824	506
営業外収益合計	12,795	6,908
営業外費用		
支払利息	505	478
支払手数料	-	914
持分法による投資損失	3,159	1,064
投資有価証券評価損	-	1,159
その他	7	-
営業外費用合計	3,673	3,617
経常損失(△)	△19,116	△36,638
特別利益		
事業分離における移転利益	636	-
固定資産売却益	-	24
特別利益合計	636	24
特別損失		
固定資産売却損	42	24
特別損失合計	42	24
税金等調整前四半期純損失(△)	△18,523	△36,638
法人税等	12,593	7,982
四半期純損失(△)	△31,116	△44,620
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,116	△44,620

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△31,116	△44,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,078	△30,897
為替換算調整勘定	689	871
その他の包括利益合計	△13,388	△30,025
四半期包括利益	△44,505	△74,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,505	△74,646
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更等)

当第1四半期連結累計期間
(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	513,143	106,412	47,869	667,425	23,054	690,479	—	690,479
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	191	191	△191	—
計	513,143	106,412	47,869	667,425	23,245	690,670	△191	690,479
セグメント損失 (△)	△10,296	△6,420	△10,575	△27,293	△945	△28,239	—	△28,239

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	491,586	85,682	44,360	621,629	17,557	639,186	—	639,186
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	723	723	△723	—
計	491,586	85,682	44,360	621,629	18,280	639,910	△723	639,186
セグメント損失 (△)	△14,449	△8,575	△12,925	△35,950	△3,979	△39,929	—	△39,929

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。